

## 1/14(水) 感謝の気持ちを届けよう

学校評価のアンケート児童質問結果より

| 質問項目                    | 前期肯定的な割合 | 後期肯定的な割合 |
|-------------------------|----------|----------|
| 自分の学校のことが好きですか          | 92.7%    | 92.7%    |
| 自分の住んでいる地域や見附のことが好きですか  | 97.1%    | 94.7%    |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか     | 90.6%    | 94.2%    |
| 将来の夢や目標をもっていますか         | 85.3%    | 82.9%    |
| 難しいことでも。失敗を恐れずに挑戦していますか | 86.8%    | 88.5%    |
| 自分にはよいところがあると思いますか      | 88.8%    | 89.0%    |

日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。学校評価アンケート(児童)の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

今回の結果で特によかったことは、見附市の基本理念である「ふるさと見附を愛する心(94.7%)」や「世に役立つことを喜びとする心(94.2%)」の肯定的回答が高い水準を維持していることです。

「自分にはよいところがある」という自己肯定感についても、90%に迫る勢いです。これらは、ご家庭や地域の中で、子どもたちが一人の人間として大切に育まれている証であり、改めて感謝申し上げます。

一方で、「将来の夢や目標」については、わずかに数値が下がっています(82.9%)。これは、成長とともに現実的な課題に直面したり、自分を客観的に見つめ直したりしている時期なのかもしれません。

今後は、「もっと自分のよいところを自覚できる」ように後押ししていきたいと考えています。自分の良さに気付くことは、他者を尊重する力の土台となります。

1月・2月の生活目標は、「感謝の気持ちを届けよう」です。自分の良さを見付けることと、周りからの支えに気付くことは、似ています。

- ・当たり前だと思っていた日常の中に、多くの人の手助けがあること。
- ・自分はこれほどまでに大切にされている存在なのということ。

こうした「気付き」を促し、言葉だけでなく、「心づかい」や「思いやり」という具体的な行動で示していくよう指導してまいります。

## 登下校に配慮いたたぎ、ありがとうございます

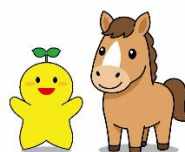
本格的な雪の季節がやってきました。登下校の際に、歩道が雪でうまり、車道を歩かなければならない状況も多くなってきました。今年度もご自分の家の除雪だけでなく、通学路の除雪もしていただくなど、大変助かっています。本当にありがとうございます。また、車の運転も慎重にいただきありがとうございます。子供たちは雪道を歩くのが精いっぱい、周囲にまで注意がいけないこともあります。今後も登下校等のご配慮をお願いいたします。



つよく さとく やさしい子

# 今小だより

令和8年1月16日



No.16

HP アドレス <http://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/imasho>

## GOOD DAY

校 長

午年(うまどし)の2026年、令和8年がスタートしました。そして、1/8(木)からは50日間の3学期もスタートしました。2学期の終わりは、「よいお年を」で別れたので、3学期始業式は「GOOD DAY」でスタートしました。「グッド デイ」は「よい1日を」という感じのあいさつの言葉だそうです。

「GOOD DAY」は「よい一日を」という挨拶ですが、その日が本当によい一日になるかどうかは、自分自身の「意識」次第です。どれほど良いことがあっても、一つの嫌なことに執着してしまえば「悪い日」に思えてしまいます。逆に、苦労が多い日でも、自分の頑張りや小さな喜びを見付けることができれば、それは「よい日」へと変わります。

私は子どもたちに「一日の終わりには、頑張ったことや嬉しかったことを思い出そう」と伝え続けています。

・今の自分を認める    ・自分の良さを見付ける    ・失敗した自分も前向きに受け止める

この繰り返しで、「自己肯定感」を育みます。人と比べたり、結果だけで一喜一憂したりするのではなく、たとえ小さくても「自分が行動したこと」「挑戦したこと」そのものを認める力を付けてほしいと願っています。

今学期はさらに一歩進んで、朝のうちに「今日はこれを頑張ろう」という目標を決めてほしいと思います。目標を持つことは「やる気」のスイッチになります。ここでも大切なのは、結果以上に「自分がしたこと・挑戦したこと」を認められる目標にすることです。

行為の意味                      宮澤 章二  
あなたの〈こころ〉はどんな形ですかと  
ひとに聞かれても答えようがない  
自分にも他人にも〈こころ〉は見えない  
けれど ほんとうに 見えないのであろうか  
確かに 〈こころ〉はだれにも見えない  
けれど〈こころづかい〉は見えるのだ  
それは人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の〈思い〉は見えない  
けれど〈思いやり〉はだれにでも見える  
それも人に対する積極的な行為なのだから  
あたたかい心があたたかい行為になり  
やさしい思いがやさしい行為となるとき  
〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きる  
それは人が人として生きることだ

友達の良いところを見付けるのと同じくらい、自分の良いところを見付ける時間を大切にしてほしいと思います。3学期は、今の学年の締めくくりであり、次学年への準備期間でもあります。毎日が「GOOD な DAY」となるよう自ら行動し、年度末に「よい一年だった」と笑顔で言えるよう、教職員一同サポートしてまいります。

## 1/8(木) 頑張ること発表

僕が3学期に頑張りたいことは、二つあります。

一つ目は、算数です。何十や何百の大きな数の学習を頑張りたいです。大きな数になっても、正しく、たし算やひき算ができるようになりたいです。

二つ目は、困ったことを、自分で解決することです。休み時間に、友達が困っていたら、相談して、こうしたらいいよと、アドバイスをしたいです。クラスの人々と仲良く楽しく過ごして、カッコいい2年生を目指します。

1年

僕が勉強で頑張ることは、そろばんです。3学期に算数で習います。僕はそろばんがすごく楽しみです。どんなやり方なのか、どうやったら計算できるのかなど、いろいろな疑問があります。そろばんはたぶん難しいけど、3年生を終われるようにそろばんも覚えて、4年生に移りたいです。

生活で頑張りたいことは、あいさつです。あいさつができると、自分も気持ちよくできるし、相手も気持ちよくなります。あいさつと言っても、相手の方を見ない、小さい声などでは気持ちが伝わっていない証拠です。だから、相手の方を見て、相手が聞こえる声で話すなどを意識してやりたいです。あいさつは人と人をつなぐいい言葉です。「おはようございます」「こんにちは」など、いろいろなあいさつがあります。みんなが気持ちよく過ごせるように、これからも元気いっぱいあいさつをして、みんなを元気にさせる人になりたいです。

3年

私が3学期に頑張りたいことは、二つあります。

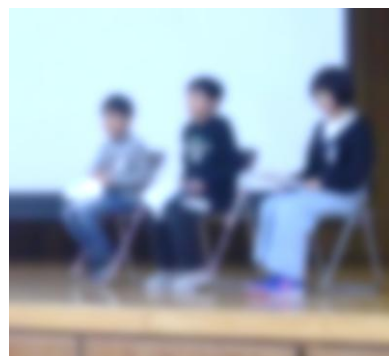
一つ目は漢字です。今までは、漢字ドリルやプリントで復習しようと、自学を頑張っていました。しかし、小テストで思ったよりも点数が取れなかったときがありました。だから、3学期は先生から漢字を直されたら、どこが間違っているかをよく見るようにして、小テストですべて合格するように頑張ります。

二つ目はチームワークです。私のクラスの学級目標は「チームワーク世界一」です。2学期はチームワークを発揮して、ふたばフェスティバルを成功させることができました。3学期もチームワークを高めたいです。そのために、私は、みんなに声を掛けていきたいと思います。たとえば、「静かにしよう」などです。6年生を送る会は5年生がリーダーになるので、学年でもチームワークを発揮したいです。

5年



代表の発表前後には、みんなから、温かい拍手が自然に起こっていました。



## 1/13(火) 5年生 地域の伝統に触れる「どんど焼き」体験

「どんど焼き」は、小正月に門松やしめ縄などを燃やし、無病息災や五穀豊穡を願う伝統行事です。今年度も地域の方々のご協力をいただき、5年生がこの貴重な行事を体験しました。

この活動は、伝統文化を肌で感じることで、自分たちの住む地域を愛する心を育むことを目的としています。準備段階では、伝統的な技術である「とば編み」を地域の方から直接伝授していただきました。

当日は、開始とともに雨風が強まるあいにくの空模様となりましたが、点火されると火は勢いよく燃え上がり、竹の割れる快音(竹が割れる音は、厄を払う縁起の良いものとされています)がグラウンドに響き渡りました。悪条件を跳ね返すような力強い炎に、子供たちは圧倒されている様子でした。

前日からの準備、そして悪天候の中での片付けまで、多大なるご支援をいただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。この火のように、子供たちにとって健やかで輝かしい一年となることを願っております。

